

# 甲子園へ一球集中

## 光星ナインが練習再開

第100回全国高校野球選手権青森大会で2年ぶりに優勝し、甲子園出場を決めた八学光星は24日午前、八戸市美保野の同校グラウンドで練習を再開した。主力選手はシートノックや打撃練習など計約6時間にわたり汗を流した。

23日の休養日を挟み2日ぶりにグラウンドに立った。準々決勝が行われた弘前市のはるか夢球場は内外野が人工芝だったため、シートノックでは土の感覚を取り戻そうと、打球の動きなどを入念に確認した。

（青森大会優勝から）気を切り替えて再スタートできている」と好感触。青森大会では守備の細かいミスがあったという長南佳洋主将は「課題を克服できなければ全国では勝てない」と気を引き締め、好調の打撃については「ここからさらにレベルアップできるように

に追い込んでいく」と意気込んだ。ナインは30日に八戸市を出発し大阪府の宿舎に向かう予定。（高松拓輝）



土の感触を確かめながらシートノックを受ける八学光星ナイン。24日午前、八戸市美保野の同校グラウンド